

フィリピンでの英語教育（2） －セブ島での語学短期留学を通して－

English Education in the Philippines (2) －Through the Study at a Language School in Cebu－

(2017年3月31日受理)

竹野純一郎 藤代 昇丈 伊藤(福田)衣里
Junichiro Takeno Noritake Fujishiro Eri Ito-Fukuda

Key words : フィリピン, 短期留学, マンツーマン授業

概 要

本稿では、中国学園大学国際教養学部国際教養学科が開講する海外留学科目の一つである「オリエンテーション海外研修」留学プログラムについて、2015年度に続いて報告する。2年目である2016年度の短期留学プログラムも、初年度と同様フィリピン・セブ島にある語学学校での実施となった。プログラム内容の簡単な紹介に加え、参加した国際教養学部1年生を対象に実施したアンケート結果から本プログラムの意義を検討する。同時に、昨年度の結果と比較し考察することで、短期留学の成果と今後の課題を検証する。

1. はじめに

中国学園大学国際教養学部（以下「本学部」という。）は、2016年度も前年度に引き続き、フィリピン・セブ島にて「オリエンテーション海外研修」留学プログラムを実施した。本学部の設置目的や留学プログラムの位置づけについては、竹野・福田・梅原・佐生・小野山・大橋ほか（2016）に記したのでここでは重複は避けたい。本稿では、2016年度に「オリエンテーション海外研修」で実施した、フィリピン・セブ島での短期留学プログラムについて、前回の2015年度の実績と比較・考察を加えながら報告する。

2. 「オリエンテーション海外研修」短期留学プログラム

「オリエンテーション海外研修」は、大学生活へのオリエンテーションという意味合いから、入学後約1か月の頃に実施している。渡航先と研修期間であるが、東南

アジアの国で、往復を含めた約2週間のプログラムである。期間中は、現地の大学または語学学校で提供されるESL (English as a Second Language) の授業に参加し、他国の留学生と共に英語によるコミュニケーションのスキルを学ぶ。英語研修以外でも、社会貢献・文化交流活動を通して、異文化で生きる術の習得や、人間力の強化を目指している。2016年度の研修先は、2015年度と同じくフィリピンのセブ島にある語学学校 SMEAG Global Education(以下「SMEAG」という。), CAPITAL CAMPUSであった。なお、「オリエンテーション海外研修」の単位認定、費用、安全性の確保については、竹野・福田・梅原・佐生・小野山・大橋ほか（2016）に詳しく記載しているのでここでは省略する。

今回のプログラムの参加者は、本学部1年生26名であり教員2名（藤代・福田）が同行した。入学後間もない海外での短期留学プログラムであり、海外渡航が初めてという学生が多いため、事前研修は必要不可欠であると考えた。昨年に続き委託旅行者である井上直美留学研究所にご協力いただき、4回の事前研修を行った(表1)。

表1 短期留学プログラム事前研修スケジュール

月 日	時 間	研修内容	配布物
第1回 4月11日(月)	16:30~18:00	旅行の目的・意義について フィリピン・セブ島について 海外旅行保険のご案内	セブ島紹介ハンドアウト セブ島渡航・研修の手引き 行程表 海外旅行保険申込書 事前研修スケジュール 自己目標チェックシート 事前研修まとめシート
第2回 4月18日(月)	16:30~18:00	SMEAG校について セブ島紹介ビデオ・学校ビデオ鑑賞 学校での過ごし方・諸注意	SMEAGハンドブック 事前研修スケジュール 寮滞在の約束事項 未成年者外出同意書 事前研修まとめシート
第3回 4月25日(月)	16:30~18:00	持ち物について 海外渡航に関する注意事項 ・受託手荷物の重量制限 ・入国審査・税関の通り方 アクティビティについて【孤児院訪問】 旅行英会話講座	持ち物チェックリスト 事前研修まとめシート ひとくち英会話 滞在寮部屋割 緊急連絡先一覧
第4回 4月28日(木)	16:30~17:30	事前研修のまとめ 直前オリエンテーション(最終確認) ・機内持ち込み荷物に入れるもの	保険証書 航空便の案内 旅程表(E-チケット) バスチケット 台風の際の注意事項 食べ物の持込について 海外旅行での注意事項 事前研修まとめシート

3. 英語留学先としてのフィリピン

フィリピン政府観光省が提供する情報紹介サイト「フィリピン政府観光省：プレミアム・リゾート・アイランド」(2017)では、英語公用国フィリピンが世界中から留学生を惹きつける魅力を大きく三つ取り上げている。

- ①常に明るくフレンドリーな国民性を持つフィリピン人講師の楽しいレッスン
- ②学校の費用は、他の英語圏に比べて約3分の1程度
- ③人気の理由は、欧米ではほとんどないマンツーマン

中心のレッスン

三つの魅力のうち、②と③については、いずれも人件費の安さによって可能になっていると考えられる。学校の費用は、イギリス・アメリカ・カナダ・オーストラリアなどの英語圏であれば、人件費に加えて物価も高いこともあり費用を安く抑えることは難しい。マンツーマン中心のレッスンも、人件費が日本並みかそれ以上の英語圏ではリーズナブルな価格での実現が難しいように思われる。

魅力①の、常に明るくフレンドリーな国民性について、少し考察を加えたい。旅行ガイドブック世界のシェア

を誇るロンリープラネット社の『Philippines』（2015）を参考に、People & Culture（人々と文化）という項目の中でThe National Psyche（国民の精神）について調べてみると、“The fatalism of the Filipino people has a name: *bahala na*, a phrase that expresses the idea that all things shall pass and in the meantime life is to be lived” (p. 424) という記述が見られる。この一文は、「フィリピン人の宿命論的諦観には『バハラナ』という名前が付いている。その成句は、すべては過ぎ去っていくので、その間、今を生きるしかないという考えを表している」と解釈できる。フィリピン人の精神である「バハラナ」とは、「何とかなるさ」という楽観的な精神と理解されることが多いようである。The National Psycheでは続けて、「この『バハラナ』精神がフィリピン人の気楽さやおもてなしの精神や寛容性を形成しており、その結果、フィリピンの訪問者がどのような人種、信条そして性的指向であっても、一様に最大限の優しさと好意を持って受け入れられるのだ」とフィリピン人の精神を描出している。

フィリピン人の国民性を語るとき、スペインとキリスト教の影響について述べておかななくてはならないだろう。フィリピン政府観光省が発行する『フィリピン英語留学案内』（2014）の国民性の項目には、「特にスペインとは長い交流があったため、フィリピン国民は生き方に関しては、アジア人というよりもラテン民族と思えるほど感情的かつ情熱的」（p. 5）と記されている。この記述からもフィリピン人の明るくフレンドリーな理由がうかがえる。キリスト教については、15世紀後半から19世紀末まで300年以上にもわたるスペインによる植民地支配によりもたらされたものであるが、今日でもフィリピン人の生活に深く根付いている。外務省ホームページの「フィリピン共和国基礎データ」（2017）によると、フィリピンは、ASEAN唯一のキリスト教国であり、国民の83%がカトリック、その他のキリスト教が10%である。

竹野・福田・梅原・佐生・小野山・大橋ほか（2016）では、英語留学先としてなぜフィリピンなのかをさらに深めて、なぜセブなのかについて論じ、加えて、語学学校SMEAGについて詳しく報告している。

4. 短期留学期間中の様子

短期留学プログラムは、2016年5月8日から5月22日までの全日程15日間での実施であった（付録1）。SMEAGでは通常、研修初日に、Speaking, Listening, Reading, Writingの4技能を測定するレベルチェックテストを受験する。レベルチェックテストの結果をもとに、Beginner, Pro-Intermediate, Intermediate, Upper-Intermediate, Advancedの5段階に分け、それぞれの段階をさらにLow, Medium, Highに細分化し、15段階のレベルで各自の実力にあったクラス、教材が選定される。本学部学生はESLコースを受講選択しており、授業スケジュールは各個人向けに組まれる。1日の大まかな流れは表2のとおりであるが、マンツーマン授業、1対4の小人数グループ授業、クラス形式の集団授業の時間帯は学生によって入れ替わることがあるので、時間割は一例である。

表2 ESLの時間割例

	時間	授業など	内容
	06:40-08:00	早朝スパルタ授業	TOEIC, Grammar, CNN
	08:00-08:40	朝食	
1st	08:40-09:25	マンツーマン授業	Listening, Speaking A
2nd	09:30-10:15	マンツーマン授業	Listening, Speaking B
	10:15-10:25	休憩	
3rd	10:25-11:10	グループ (1:4) 授業	Discussion A
4th	11:15-12:00	グループ (1:4) 授業	Discussion B
	12:00-13:00	昼食	
5th	13:00-13:45	集団授業	Pronunciation A
6th	13:50-14:35	集団授業	Pronunciation B
	14:35-14:45	休憩	
7th	14:45-15:30	マンツーマン授業	Reading, Writing A
8th	15:35-16:20	マンツーマン授業	Reading, Writing B
	16:20-16:30	休憩	
9th	16:30-17:15	集団授業	Speak Up A
10th	17:20-18:05	集団授業	Speak Up B
	18:05-19:00	夕食	
11th	19:00-19:45	夜間スパルタ授業	NEWS, TOEIC, IELTS
12th	19:50-20:35	夜間スパルタ授業	Step-Up Class

フィリピンの語学学校の特徴はマンツーマン授業であり、毎日45分×4コマが確保されていた。少人数グループでのディスカッション形式の授業、クラス形式での集団授業、早朝・夜間スパルタ授業を含めると、学生は1日10時間を超えるレッスン受講が可能であった。加えて、学生たちは毎日英語で日誌を書くことが課せられた。

2016年度のプログラムが前年度と異なっていたことは2点挙げられる。一点目は、早朝スパルタ授業・夜間スパルタ授業も原則出席にしたことであり、二点目は、たとえ語学学校の周辺でも学生だけで出歩くことは基本的に許可しなかったことである。これらの変更は、どちらも2016年5月9日にフィリピン大統領選挙が行われていたことが原因となった。この選挙で、後に世界中にその名を知られることになるロドリゴ・ドゥテルテ氏が当選したのであるが、フィリピン国中が注目する選挙ということもあり、通常であれば研修初日である5月9日が休日の扱いになりレベルチェックテストが翌日にずれ込んだ。大統領選挙日はフィリピンでは祝日のような扱いであったため、SMEAGに責任はないが、通常の英語レッスンが1日遅れた形で始まったのである。このこともあって、学生たちの学習時間の確保を考え、早朝・夜間スパルタ授業にも原則出席するように指導した。ただし、体調がすぐれない場合は休むことを許可した。SMEAGのあるセブ市・セブ島の治安状況はフィリピンの首都マニラのあるルソン島ほど注意が必要な状況ではないと思われるが、選挙に対する国民意識の高いフィリピンでは、当時平生と少し雰囲気異なっていたため、安全面に考慮して、語学学校の周辺であっても学生だけで出歩くことは許可しない方針とした。

結果として、終日建物内で英語漬けの生活を送ることになった本学部学生であったが、SMEAGでは、食堂で朝・昼・夕食が用意され、ランドリーは無料、建物内にカフェやコンビニ、自習室やトレーニングジムも備えているため、基本的には外出の必要はなかった。宿泊については、同建物内の3、4、5階が宿泊施設になっており、3～4人の相部屋が割り当てられた。宿泊施設の男女のスペースは厳密に区分けされていた。

表2のような生活の繰り返しの中、付録1の行程表で確認できるように、2週目水曜日午後に孤児院訪問を学外アクティビティーとして企画、実施した。孤児院訪問

に際して、学生たちは、お手玉・けん玉・あやとり・折り紙・独楽のグループに分かれ、日本文化の紹介ができるように事前研修の段階から準備をしてきた。前年度も同様のアクティビティーを小学校で行ったが、手順としては、それぞれのグループでパフォーマンスを披露し、参加してくれる子どもたちに実際に体験をしてもらおうというものであった。日本から各自持参したプレゼントも贈呈し、子どもたちから大変感謝された。また、ウィークデーに外に出ることができなかつたため、週末は同行教員がツアーを企画して、全員で市内観光やビーチを訪れるなど、リフレッシュし、英気を養ったことも記しておく。

全行程の詳細については、中国学園大学国際教養学部 Facebook (2017) で写真とともに確認することができる。今回の短期留学のハイライトであった孤児院訪問、そして研修の最終日の修了式の様子をここで紹介し、本プログラムが成功のうちに終了した報告としたい。

〔セブ島研修報告〕 By Eri Fukuda

5月18日

今日は午前中は授業を受け、午後から孤児院を訪問してきました。山の奥深くにある女子だけの孤児院です。スクールバスに乗り込んでしばらくは見慣れた町並みでしたが、大通りを離れるとすぐにバナナ畑が広がり、舗装されていない道に突入しました。バスが通れるギリギリの幅の山道を上がっていき、やっと孤児院に到着。かわいらしい色の建物で、中に入ると、小学校低学年から高校生くらいの女の子たちが笑顔で出迎えてくれました。(中略)

その後学生代表が挨拶をし、日本の伝統的な遊びを教えるコーナーになりました。教えた遊びは、折り紙、コマ回し、あや取り、お手玉、けん玉の5種類です。子供達は夢中になって遊んでいました。日本文化に興味を持つきっかけになったのでしょうか。

最後にプレゼントを渡し、交流会は終了しました。子供達は本当に人懐っこく、学生たちとの別れを惜しみ、学生たちも名残惜しい様子でした。みんな非常に楽しく有意義な時間を過ごせたと思います。あと残り3日、がんばりましょう！

5月20日

今日は通常通り18時5分まで通常授業があり、その後修了式が行われました。中国学園の学生だけでなく、他の修了生と合同の修了式です。昨年同様、明るい雰囲気では始まり、先生方や生徒たちが代表で挨拶をしました。国際教養学部の学生も何人か名前を呼ばれ、みんなびっくり。急に何を話してよいかわからなかったと思いますが、先生方への感謝の気持ちを述べていました。

修了証授与の間に先生方の出し物があり、ソロでブレイクダンスのような踊りを披露したり、バラードを歌ったりしていただきました。素晴らしいサービス精神です。国際教養学部の学生が修了証書を受け取る番になり、先生が一人一人に修了証を手渡していただきました。みんな2週間がんばって、喜びも一入だったと思います。

修了式が終わった後は、みんな先生方とお別れをしていました。泣いていた学生もおり、別れるのが悲しいほど先生方と心の交流ができたことは、学生が一番の思い出になったと思います。この思い出を胸に、日本に帰ってもがんばっていきましょう！お世話になったスタッフの皆様、先生方ありがとうございました。

5. アンケート結果と考察

短期留学プログラムを終えた約1週間後に「セブ島研修アンケート」を実施した。質問と学生の回答を紹介し、前年度の結果と比較しながら考察を加えていきたい。括弧内の数値は〔今年度(前年度)〕の順で記載している。

「セブ島研修アンケート」

I 以下の項目に関して、「1 全く同意できない、2 同意できない、3 どちらとも言えない、4 同意できる、5 非常に同意できる」から最も当てはまるものを選んでください。

- A) 事前研修に満足した。〔3.31 (4.26)〕
- B) 今回の海外研修全体に満足した。〔4.15 (4.47)〕
- C) マンツーマン授業に満足した。〔4.50 (4.47)〕
- D) グループディスカッションの授業に満足した。〔4.50 (4.11)〕
- E) 集団の授業に満足した。〔3.08 (3.32)〕
- F) (学外アクティビティーについて) マングローブ

植林に満足した。〔— (3.32)〕

- G) (学外アクティビティーについて) 孤児院(小学校)訪問に満足した。〔4.92 (4.21)〕
- H) 今回の研修を通して、スピーキングスキルが向上した。〔3.88 (3.53)〕
- I) 今回の研修を通して、リスニングスキルが向上した。〔3.85 (3.84)〕
- J) 今回の研修を通して、リーディングスキルが向上した。〔3.54 (3.58)〕
- K) 今回の研修を通して、ライティングスキルが向上した。〔3.38 (3.42)〕
- L) 今回の研修を通して、語彙力が向上した(単語の知識が増えた)。〔3.81 (4.00)〕
- M) 今回の研修を通して、今までより英語を勉強したいと思った。〔4.58 (4.37)〕
- N) 今回の研修を通して、今までより外国の文化に興味を持った。〔4.58 (4.32)〕
- O) 今回の研修に参加した経験は、将来の自分のためになると思う。〔4.85 (4.89)〕
- P) もし、このようなプログラムがあったら、また参加したい。〔4.46 (4.68)〕

A)～P)の横の括弧内の数値は参加学生の回答の平均値である。アンケートは5件法を用いており、全質問の平均は〔4.09 (4.05)〕であった。A)事前研修の満足度〔3.31 (4.26)〕、B)研修全体の満足度は〔4.15 (4.47)〕であった。事前研修の満足度の差については、前年度の実績があったため事前研修以外からの情報が豊富であったことが影響したのかもしれない。研修全体の満足度が前年度と比べやや低いのは、リスニング、スピーキングのスキル向上は図られたものの、リーディング、ライティングのスキルが、事前の期待レベルほど向上しなかったと回答したためと考えられる。本研修の重点が聞き・話すという音声面に置かれるためやむを得ないが、前年度に比べ研修前の学生の期待度が高かったことが要因として考えられる。授業形式は、C)マンツーマン授業〔4.50 (4.47)〕、D)少人数グループ授業〔4.50 (4.11)〕、E)クラス形式の集団授業〔3.08 (3.32)〕という結果であった。マンツーマン授業の評価が高く、クラス形式の集団授業の評価が低いのは前年度と同様であるが、前

回に比べ今回は、少人数グループ授業の評価が高いことが特徴的であると言える。これは、あくまで印象であるが、今年度のほうが自分を出ることができる学生の割合が高いことに起因しているかもしれない。学外アクティビティーについて、F) マングローブ植林[-(3.32)], G) 孤児院(小学校)訪問[4.92(4.21)]という結果であった。マングローブ植林は前年度の反省を踏まえ、時間的、気候的にも無理があると判断し今年度は実施を見合わせた。今回の孤児院訪問と前回の小学校訪問を比べることはできないが、今年度の孤児院訪問はすべての項目の中で最も高い評価であった。無邪気な子どもたちとの触れ合い、心からコミュニケーションができた充実感が学生たちの心に強く訴えたことは間違いない。次に、4技能や語彙力などの英語力に関する学生の回答であるが、H) スピーキングスキルの向上[3.88(3.53)], I) リスニングスキルの向上[3.85(3.84)], J) リーディングスキルの向上[3.54(3.58)], K) ライティングスキルの向上[3.38(3.42)], そしてL) 語彙力の向上[3.81(4.00)]という結果であり、前年度と同様、必ずしも英語力が目覚ましく向上したとは感じていないようである。スピーキングスキルの向上については、今年度のほうが少し高い評価であった。このことも、前述したように自分を出せる学生が多かったことに起因するのかもしれない。M) 今までより英語を勉強したい[4.58(4.37)], N) 今までより外国の文化に興味を持った[4.58(4.32)], P) このようなプログラムがあったらまた参加したい[4.46(4.68)]という、今後の意欲に関する質問項目は総じて高評価であった。前年度と比べると、勉強したい気持ちや文化に興味を持ったものの、また参加したいかという問いに少し積極的になれていないのは、短期間のセブという慣れない海外で、英語浸けで勉強するという自分たちにとって厳しい体験をしたからであろうと解釈する。孤児院訪問以外で最も評価が高かった項目は、O) 今回の経験は将来の自分のためになる[4.85(4.89)]であったが、前年度も一番評価が高かったこの回答を見る限り、参加した学生たちは総じて本プログラムの経験が有意義であったと感じていたようである。本学部スタッフとしては、このプログラムが学生たちの将来のためになるのだと信じ、本プログラムをより良いものにしていかなければならないと強く思う。

本論ではアンケートの5段階スケールでの回答のみを紹介したが、「Ⅱ 自由記述」「Ⅲ 後輩へ」「Ⅳ フリーコメント」に関しても、付録2で学生たちの生の声として一部確認することができる。

6. おわりに

本学部の海外短期留学プログラムは今回が二度目の試みであったが、入学約1か月後に海外でオリエンテーション研修を行うことは、非常に意義のあるものであることが再認識できた。帰国後、学生たちがどれだけ短期留学プログラムでの経験をその後の自己実現に生かせるか、教員はどのようにその手助けができるのかが課題であると前年度記したが、2年目の研修を振り返ってもやはり同じ結論になる。本学部の学生たちのますますの頑張りに期待しエールを送り本稿を締めくくりたい。

引用文献

- 竹野純一郎・福田衣里・梅原嘉介・佐生武彦・小野山和男・大橋典晶ほか(2016). 「フィリピンの英語教育(1) -セブ島での語学短期留学を通して-」『中国学園大学紀要』15, 131-140.
- フィリピン政府観光省(2017). 「プレミアム・リゾート・アイランド フィリピン」.
<http://www.premium-philippines.com/> (閲覧日: 2017年3月21日).
- Grosberg, M., Bloom, G., Holden, T., Kaminski, A., & Stiles, P. (2015). *Philippines* (12th ed.). Lonely Planet.
- 外務省ホームページ(2017). 「フィリピン共和国基礎データ」.
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/philippines/> (閲覧日: 2017年3月21日).
- フィリピン政府観光省(2014)『フィリピン英語留学案内』. 中国学園大学 国際教養学部 Facebook (2017).
<https://www.facebook.com/%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E5%AD%A6%E5%9C%92%E5%A4%A7%E5%AD%A6-%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E6%95%99%E9%A4%8A%E5%AD%A6%E9%83%A8-694475763972301/> (閲覧日: 2017年3月21日).

付録1：新入生オリエンテーション海外研修 行程表

中国学園大学様 国際教養学部 国際教養学科
新入生オリエンテーション海外研修 行程表 (5/8~5/22)

月日	曜日	予定
5/8	日	JR岡山駅西口 バス乗り場7:30集合 / 7:55出発→関西国際空港 国際線ターミナル11:30到着
		フィリピン航空PR409 関西空港15:25出発→セブ島空港18:45到着
		セブ島空港到着後、語学学校スタッフの送迎バスにて宿舎へ移動
5/9	月	午前：オリエンテーション
		午後：ショッピングモールにて散策（両替・買い物）
5/10	火	午前：レベルチェックテスト
		午後：特別授業（13:00~16:00）
5/11	水	終日：通常英語レッスン（6:40~20:35）
5/12	木	終日：通常英語レッスン（6:40~20:35）
5/13	金	終日：通常英語レッスン（6:40~20:35）
5/14	土	終日：自由時間
		※オプション・・・市内観光やビーチ散策・マリンスポーツなど（希望者のみ実費）
5/15	日	終日：自由時間
		※オプション・・・市内観光やビーチ散策・マリンスポーツなど（希望者のみ実費）
5/16	月	終日：通常英語レッスン（6:40~20:35）
5/17	火	終日：通常英語レッスン（6:40~20:35）
5/18	水	午前：通常英語レッスン（6:40~12:00）
		午後：孤児院訪問 13:00学校出発→14:00孤児院到着 子供たちとの交流（約2時間）
		16:00孤児院出発→17:00学校帰着
5/19	木	終日：通常英語レッスン（6:40~20:35）
5/20	金	終日：通常英語レッスン（6:40~18:05）
		夕方：修了式（18:15~19:00）にて修了証書授与
5/21	土	終日：自由時間
		※オプション・・・市内観光やビーチ散策・マリンスポーツなど（希望者のみ実費）
5/22	日	午前6:00 1Fロビー集合 / 6:15頃 送迎バスにて宿舎よりセブ空港へ
		フィリピン航空PR410 セブ空港09:00出発→関西空港14:25到着
		関西空港 バス乗り場15:45集合/16:05出発→JR岡山駅西口19:40到着 解散

※旅程の内容は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

付録2：セブ島研修アンケート（抜粋）

II 自由記述

A) 今回の研修でよかった点

- ・孤児院が1番楽しかった。
- ・マンツーマンの授業。グループディスカッションの授業。観光では見れないフィリピンが見れたこと。
- ・マンツーマン授業のおかげで、スピーキング、リスニングスキルは向上したと思う。間違っているとすぐ直してくれるので、安心して英語で話すことができた。
- ・クラスみんなと一緒に生活をともに過ごし、あまり話したことがない友達とも仲良くなれて良かったです。SMEAGの先生やスタッフの方々もとても優しくフレンドリーで嬉しかったです。自分は特にone-to-oneの先生の授業が楽しく、先生と勉強以外の話をしたり、お菓子を食べながら授業をしたことがとても楽しかったです。
- ・フィリピンの先生は本当に日本語がわからないので、マンツーマン授業ではすべてが英語になります。英語を話さなければいけないという意識が高くなりました。
- ・良かったのはマンツーマンの授業と孤児院の2つです。マンツーマンではとても良い先生に出会えたので授業も楽しく、もっと話したいという思いから自然と多くの言葉を話したり理解したりできるようになりました。孤児院では子どもたちから多くの元気をもらい、自分の考え方が変わりました。
- ・マンツーマンやディスカッションなどでの英語力向上。土日の観光。外国の人とのふれあい。
- ・より母国が好きになった。視野が広がった。
- ・自分の英語力のなさが実感できた点。友達が英語力伸びたっていうのを聞いて自分も頑張ろうと思えたところ。
- ・フィリピンの国がよく理解できてよかった。

B) 今回の研修でよくなかった点

- ・集団の授業で、留学に来てもう3ヶ月とかたつ人と一緒に授業するのがきつかった。
- ・常に体調を崩していて、薬が少し足りなかったので困った。授業以外ではほとんど中国学園以外の人と話

せなかった。

- ・自分はまだまだ知識力と単語力がないのでEnglish teacherと話す時に会話がとぎれてしまったので、もっと知識力と単語力を学んでおけばいいと感じました。クラスで行動する時に時間内集合が自分は出来ていなかったのととても申し訳なく思いました。
- ・暑い。トイレが不便。食べ物が美味しくない。
- ・イブニングスパルタがTOEICのクラスだったのですが、難しいことをしている上に説明が英語なのでついていけませんでした。
- ・トイレや生活用水が大変だった。集団授業のレベルが高すぎてついていくのがやっとだった。Wi-fiが使える場所が限られている。
- ・部屋が汚かったこと。水道水が汚かったこと。
- ・2週間、みじかい。
- ・食べ物と飲み物はどうしても合わなかった。
- ・夜ふかし。Man to Manでサブteacherがほとんどで、textを進められなかった。

C) SMEAGの感想

- ・集団の授業で理解出来ていないのに先生1人先々進んでいるのはどうかと思った。
- ・授業のスケジュールの組み方がよかった（内容・時間）。スピーキングテストが、時間の都合のせいか、不十分だった。
- ・先生方やスタッフの方もとても親切でフレンドリーで明るい方が多くてとても良かったです。
- ・部屋もキレイですし、カフェやマッサージもあって、いいです。先生とも仲良くなれるし。
- ・事務の手続きがよく分からなかった。
- ・学校内は、はじめなれないことも多くてとまどいましたが、1週間たてばなれてくるので大丈夫です。
- ・先生がフレンドリーでとても良かったしおもしろかった。
- ・Man to Manのレベルチェックテストで本当に自分のクラスにあっているかわからなかった。
- ・やさしい先生ばかりでリラックスして授業を受けることができました。
- ・エアコンのきいている所ときいていない所の差があった。

D) 海外研修前と後の自分を比べると、変わったと感じる点がありますか。ある場合、どのような変化を感じますか。

- ・生活面で自然に英語が出るようになった。
- ・前よりは英語を話せるようになった。英語を話すことに少し自信がもてた。
- ・外国への見方が変わった。
- ・自分で考えて行動できるようになった。聞き取れなかったことが少し分かるようになった。
- ・いろいろな人と話してみたいと思うように変わった。
- ・向こうへ行って、今まで自分はあるていど英語は出来ると思っていましたが、行ってみると自分が話す英語がまったく通じず今まで自分が話していたのは日本語英語だったんだなど実感しました。なのでちゃんとした発音で英語を話すように心がけ、日本に帰ってからも続けています。
- ・英語の力は確実に変わった。授業で先生(ネイティブ)の言っていることがだいたい分かるようになった。
- ・英語に対する意識が、すごく変わりました。もっと英語勉強して、もっと話せるようになりたいと思う！本当に行ってよかった。
- ・英語力をもっと伸ばしたいと思った。発展途上国を実際に見て、色々感じるものや考えるもののができた。
- ・英語の全体的なスキルとコミュニケーション能力が向上した。外国人と話しをするのに全く抵抗がなくなった。

E) 英語以外でこの研修を通して学んだこと・気づいたことはありますか。

- ・文化の違い、国民性。
- ・英語以外で一番大切なことは相手とのコミュニケーションだと気づきました。
- ・とにかく英語を話すことと、単語をたくさんおぼえることが大切だとすごく思いました。特に単語力。
- ・日本には学ぶことの出来ない大きな経験ができた。
- ・フィリピンの貧困の現状がよく分かった。
- ・日本は素晴らしい国だと実感し、自分が今までどれだけめぐまれていたかを知りました。またフィリピンの文化でいつもスマイルという文化があり、自分もいつ

もスマイルでいるようになりました。

- ・異国の文化にすごく興味を持つようになった。まさか、自分がこんなにフィリピンを好きになるとは思っていなかった。
- ・日本は恵まれていると改めて感じ、日頃の水や食料のむだ使いを減らそうと思った。
- ・異文化について学べたこと。あまり関わりのない人とも仲良くなれた。
- ・発展途上国での生活、街並み、食文化など日本との違いをたくさん見つけることができた。

III 後輩へ(複数回答のみ記載)

A) 持って行ってよかったと思ったものTOP 3

- ・(電子)辞書(15) ・薬(9) ・トイレットペーパー(8)
- ・インスタント食品(6) ・日本食(6)
- ・(楽な)服・上着(6) ・日焼け止め(5)
- ・(バス)タオル(4) ・(箱)ティッシュ(4)
- ・サンダル(3) ・洗剤(3) ・虫よけ(2) ・水着(2)

B) 持って行ったけどいらなかったものTOP 3

- ・傘(12) ・(箱)ティッシュ(6)
- ・インスタント食品(4) ・カップ(4) ・靴(4)
- ・靴下(3) ・洗剤(3) ・(厚手の)長袖(3) ・帽子(3)
- ・雨具(2) ・薬(2) ・トイレットペーパー(2)
- ・バスタオル(2) ・日焼け止め(2) ・変圧器(2)
- ・変換プラグ(2) ・虫よけ(2)

C) 持って来ればよかったと後悔したものTOP 3

- ・(多めの)タオル(8) ・(多めの)服(8)
- ・(多めの)下着(5) ・カップラーメン(4)
- ・コップ(4) ・洗剤(4) ・日本食(4) ・うちわ(3)
- ・日本のお菓子(2)

D) 必要だと切実に感じた英語技能・知識(スピーキングスキル、品詞の知識、語彙など)

- ・語彙力(25) ・スピーキングスキル(14)
- ・リスニングスキル(12) ・発音(4)
- ・ライティングスキル(3) ・コミュニケーション力(2)
- ・文法力(2)

E) 海外研修へ参加する後輩へのアドバイス

- ・体調を悪くする人が多かったので薬を多く持参したほうがいい。
- ・明確な目的をもって行くこと。学校の授業だからという理由で行ったら無駄な2週間になる。私たち以外の生徒は英語に対して明確な目的を持った人が集まっているから、中途半端な目的で行くとかなりの遅れを感じる。
- ・モーニングスパルタとイブニングスパルタはがんばって出てほしい。先生がほんとうにいい人達ばかり！！マンツーマンがとても楽しかった！とにかく話す！分からなくてもとりあえず話すことが大事！！
- ・やる気と根気があれば、できなくても何とでもなる。
- ・海外研修前に少しでも英語を勉強しておくといいと思う。
- ・大きすぎる期待はやめた方がよい。遊びに行くんじゃなく、勉強のみで行くと思った方が向こうでやっていると。6:40からのモーニングスパルタと8:30までのイブニングスパルタは出た方がよいと思う。(マンツーマンとディスカッションは出て当たり前) スペシャルクラスはクラスによって違うけど出れば他の国の人とたくさん話せる。
- ・フィリピンで多くの事を学んで下さい。日本とフィリピンでは環境や文化がけっこうちがうのでショックを受けることもあると思いますが、それが自分にとってとても良い経験になると思います。Shyにならず積極的に英語を使って話してみして下さい。
- ・知らない先生でも話しかければすごく仲良くなれるし、おもしろい。先生たちと英語で会話してたらだんだん聞きとれるようになるよー。
- ・常備薬はある。睡眠はしっかりとること。英語力に自信がなくても話すことが大事！！カフェでリラックスすると良い。
- ・その国をよく調べてから参加すること。その国の雰囲気を知ってから味わってから帰ってくる。
- ・孤児院は思っていたより相当楽しかった。
- ・初めは文化の違いや環境の違いにとまどったけど、慣れたら何ともなかった。つらいことがたくさんあったけど、トータルで楽しかった。セブ研修は想像していたのちがって結構、過酷な環境だったので、みんな情緒不安定になって大変でけんかもたくさんありました。けど、それがあったからこそみんなと仲良くなれるきっかけになったのでよかったです。勉強だけでなく人間関係も学べたので良かったです。
- ・行く前は、とても不安だったけど、実際行ってみるととても楽しくて驚いた。もっと英語を話せるようになりたいと思った。
- ・光熱費は高いからエアコンとか節約するかもしれないけど、毎日寝る時4時間くらいなら、大したこと無い。(私の場合全部で450ペソ) SMEAGにはカフェがあって、結構美味しい(小さいジムもある、涼しいから勉強できる)。部屋にWi-Fiは届かない。トイレは紙流すとつまる！部屋以外のトイレは1階に1つしかない。
- ・あまり多くの日本食を持って行くと消費できずに困ったりするので少量でいいと思います。向こうはとても暑いので汗をふくタオルは多めの方が良いと思います。ノートは使っても1,2冊で足りる。私は1冊ですべての授業分にしました。
- ・めっちゃ楽しかった。私は来年フィリピンに旅行に行く！！待っているフィリピン。
- ・水でお腹をこわす人いるからポカリスエットとか買ったほうがいい。
- ・海外の友達もできて、とても充実した毎日でした。

IV フリーコメント

- ・思っていたより英語の力がついて2週間だけだったけど勉強になりました。
- ・家からSMEAGに通えたらいいなと思いました。